

A D B、新たな長期戦略を決定

[マニラ、2008年4月9日] アジア開発銀行 (A D B) は7日の理事会で、アジア・太平洋地域の貧困撲滅に取り組む上で新しい柱となる「戦略2020」 (Strategy 2020) を定めた。

これにより、1日1ドル以下で暮らす貧困層が約6億人とされるアジア・太平洋地域において、A D Bは活動の主眼を、(1) 全ての人々に恩恵が行き渡る(インクルーシブな)成長、(2) 環境に調和した持続可能な成長、及び(3) 地域統合の促進、という3つの柱に置いていく。

A D Bの黒田東彦^{はるひこ}総裁は、「この『戦略2020』は、急速に変化するアジア、および国際援助体制という枠組みの中で、A D Bがより革新的で有効な開発支援を行っていくための活動内容、方向性、および在り方を見直したものだ」と述べた。

同戦略は、持続可能な貧困削減はより多くの人々が生産的な仕事に従事し、経済成長が環境保護との調和の中で達成され、かつ近隣国同士がより広範囲かつ自由な市場において相互に協力し利益を分かち合うことで初めて実現するとの観点に立っている。

具体的には、A D Bは2012年までに貸付業務の8割をA D Bが比較優位を有する5つの中核的活動分野 - インフラ開発、環境、地域協力・統合、金融セクター開発、および教育 - に集中させることを目指し、さらに2020年までに民間部門の開発・業務推進のために業務の約5割を、また地域協力・統合のために約3割を充てる方針を示している。また同時に、保健や農業、災害・緊急援助活動などの分野にも一層選択的な活動を展開していくとしている。

同戦略ではまた、今後A D Bの活動を主導していく上で鍵となる分野として、民間部門活動への支援、ガバナンスの改善・強化、女性の地位向上支援、さらに途上

国への知識支援を挙げているほか、同種の開発援助機関、民間部門、および地域に根ざした各種団体との一層の連携強化も必要としている。

さまざまな利害関係者との積極的な協議を踏まえた上で策定されたこの「戦略2020」は、現行の「2001-2015 長期戦略枠組み (L T S F) 」 (2000 年発表) に替わり、今後 2008 年から 2020 年までの ADB の基本戦略の指針として機能することになる。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADB のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>